

事業報告書

1. 事業名

遺伝子組換え実験安全管理研修会

2. 事業目的

文部科学省の方針に基づき、各機関のより良い遺伝子組換え実験安全管理体制構築に関する情報提供・情報交換および討論を行う。

3. 開催期間

2024年7月13日（土）13時00分～16時00分（Zoomウェビナー）

4. 主催等

主催 遺伝子研究安全管理協議会

共催 国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議

後援 文部科学省

5. 参加機関

国立大学法人 43 校、私立大学 22 校、国立研究開発法人・公益財団法人等 12 機関、
民間研究所等 30 組織

合計 107 機関 参加者合計 212 名

6. 概要

13:00～13:35

「カルタヘナ法について」文部科学省ライフサイエンス課

13:35～14:00

「カルタヘナ法施行 20 年アンケート結果と遺伝子協の今後の取組みについて」

14:00～14:10

休憩

シンポジウム「ゲノム編集技術の新展開」

14:10～14:50

「体外での胚操作を要しないゲノム編集動物作製法」東海大学 大塚正人先生

14:50～15:20

「新たな選択肢としてのエピゲノム編集療法」群馬大学 畑田出穂先生

15:20～15:50

「ゲノム編集がもたらす新たな遺伝学」理化学研究所 清成寛先生

15:50～16:00

総合討論

遺伝子協

第 16 回 遺伝子組換え実験安全研修会

2024 年 7 月 13 日 (土) 13:00-16:00

Zoom ウェビナー

プログラム

13:00 ~ 13:35

「カルタヘナ法について」 文部科学省ライフサイエンス課

13:35 ~ 14:00

「カルタヘナ法施行 20 年アンケート結果と遺伝子協の今後の取組みについて」

14:00 ~ 14:10

休憩

シンポジウム「ゲノム編集技術の新展開」

14:10 ~ 14:50

「体外での胚操作を要しないゲノム編集動物作製法」 東海大学 大塚正人先生

14:50 ~ 15:20

「新たな選択肢としてのエピゲノム編集療法」 群馬大学 畑田出穂先生

15:20 ~ 15:50

「ゲノム編集がもたらす新たな遺伝学」 理化学研究所 清成寛先生

15:50 ~ 16:00

総合討論

申込み

遺伝子協の公式 WEB サイト (<https://www.idenshikyo.jp/>) より

申込み締切

2024 年 6 月 28 日 (金) (7/11 頃 Zoom の URL をお送りいたします)

参加費 無料

主催：遺伝子研究安全管理協議会

共催：国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議

後援：文部科学省